

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	社会教育課長 磯崎 修	
		主管課(関係課)【2】	社会教育課(教育企画課)	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
創3-1	生涯学習社会の形成	豊かな学び・文化が息づくために	創造性の育つまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	<p>社会の環境変化に対応しつつ生涯学習の充実を図るためには、情報の提供を通じて生涯学習の取組を広く周知するとともに、市民一人ひとりが生涯学習の主役となるようなしくみづくりが必要です。</p> <p>そのため、地域のさまざまな人を結びつけ、協働により地域での生涯学習を進めていく必要があります。</p>		<p>・生涯学習に関する情報発信の充実</p> <p>・生涯学習を実施する拠点の整備</p> <p>・市民の積極的な生涯学習活動への参加</p> <p>・地域内ネットワークによる生涯学習の推進</p> <p>・学習成果の地域社会への還元</p>	<p>市民一人ひとりが生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも自由に学習することができるまちづくりを進めます。</p>
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
<p>◇平成18年に教育基本法が全面改正され、新たに「生涯学習の理念」が位置づけられ、生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならないとされました。</p> <p>◇平成20年に社会教育法の一部が改正され、「学校の放課後や休業日の児童・生徒に対する学習及びその他の活動機会の提供」、「地域住民の学習成果を活用した教育活動の提供」が、市町村教育委員会の事務として追記されました。</p>				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	生涯学習活動を促進するしくみづくりを進めます	生涯学習推進計画に基づく学習活動の支援	
	2	生涯学習活動のネットワーク形成を進めます	学び合いや教えあいの市民交流の機会づくりの推進	

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「生涯学習活動の充実」の市民満足度		目標値	35%		単位	%	
		算出式・説明	市民の主体的な学習活動を促進するためには、市民のライフスタイルやニーズに対応した多様な学習機会を提供し、生涯学習活動の充実への満足度を高め、生涯学習活動への参加意欲を喚起することが必要です。市民意識調査で把握します。		実績値	25.9	25.9	25.9	25.9	
		達成率	74%	74%	74%	74%				
		名称		目標値		単位				
	指標2	算出式・説明		実績値						
		達成率								
		名称		目標値		単位				
		算出式・説明		実績値						
	指標3	達成率								
		名称		目標値		単位				
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
	指標4	名称		目標値		単位				
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
		達成率の平均値			74%	74%	74%	74%		

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	25.8%	満足度(%)	25.8%
満足度(平均ポイント)	0.01	満足度(平均ポイント)	0
重要度(%)	68.2%	重要度(%)	69.2%
重要度(平均ポイント)	0.83	重要度(平均ポイント)	0.89

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input checked="" type="checkbox"/> まだ未達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
		<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
総合評価	判断理由等【24】	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	
		施策実施方針【22】		
今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】				
説明【23】				
施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】				
生涯学習推進計画の実施計画の推進にあたっては、新規並びに充実事業を中心として、重点的に進行管理を行います。				
生涯学習事業の豊富化については、地域住民や社会教育団体などによる地域生涯学習事業や、市内大学等との連携による共同事業の企画・実施などにより学習機会の充実化を図ります。				
生涯学習に関する情報の一元的な提供については、生涯学習関係機関との連携により、情報の収集や提供方法等について可能となる仕組みづくりについて検討を行なっていきます。				
平成20年度に策定した「西東京市生涯学習推進計画」に位置づけられた施策を推進するため、平成21年度には、担当部署による「生涯学習連絡調整会議」や市民参画による推進組織である「生涯学習推進懇談会」の意見を反映しながら、推進事業の実施計画(3カ年)を策定しました。				
また、同年度末には関係部署における生涯学習推進事業の進捗状況の把握のための調査(平成21年度取組実績と平成22年度取組目標)を実施し「生涯学習推進懇談会」に報告しました。				
今後は、実施計画に位置づけられた推進事業についての進行管理を行うとともに、重点推進事業の抽出や課題の洗い出しを行い、具現化に向けた必要条件の整備並びに調整を行う必要があります。				
生涯学習の推進のためには、今後、生涯学習事業の豊富化や生涯学習に関する情報の一元的な提供を図っていくことが課題となります。				

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	なし
--------	----

【行革本部評価】

総合評価	判断理由等【24】	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み
		施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化
総合評価	施策実施方針【22】	生涯学習社会の形成については、平成20年度に策定した「西東京市生涯学習推進計画」に掲げた各種事業の推進のため、庁内の担当部署による「生涯学習連絡調整会議」と市民参画による推進組織である「生涯学習推進懇談会」を設置して、取組みを進めてきましたが、市民意識調査における満足度が相対的に高いことを踏まえ、コスト面で効率化を図っていくべきものと判断しました。	<input type="checkbox"/> コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域
		施策実施方針【22】	<input type="checkbox"/> コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域

【施策内の事務事業貢献度判定】

創3-1 生涯学習社会の形成

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	共同事業の企画、実施（再掲）	教育企画課	（創2-3で再掲） 市内にある武蔵野大学、東京大学、早稲田大学と連携して、公開講座の実施や連携事業を実施しています。小学生向けに理科・算数だいき実験教室や食育体験実習を行っています。
	生涯学習情報提供システムの整備、活用【事前】	社会教育課	市民が多様な生涯学習情報を収集・選択・活用できるよう、情報の一元化や各種情報提供の整備、充実を図ります。
2	生涯学習人材情報の整備、活用に向けたしくみづくり【事前】	社会教育課	（生涯学習情報提供システムの整備、活用で実施） 市民が多様な生涯学習情報を収集・選択・活用できるよう、情報の一元化や各種情報提供の整備、充実を図ります。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】	
	事業費	人件費				
0	0	0	—	—	地域と学校が連携し、地域の学習要望にこたえる形で事業を企画実施することで、住民主体の生涯学習活動を通じたまちづくりを推進することができます。	B
0	0	0	—	—	市内大学と連携して、講座の実施などにより多様な学習機会の充実を図ることができます。	B
808	0	808	— (平成18年度)	—	市民が手軽に多様な学習情報を手に入れられるようになり、自分にあった生涯学習活動に参加することができるようになります。	B
0	0	0	—	—	生涯学習人材情報を提供することなどにより、学校や地域、各団体が積極的に活用して、ネットワーク形成を図ることができるようになります。	B
808	0	808				